

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊勢市	代表者名	伊勢市長
担当者部署	情報戦略局	連絡先電話番号	0596-21-5507
担当者役職		担当者氏名	
住所	516-8601 三重県伊勢市岩渕1丁目7番29号		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当市の状況に合わせて研修を構成していただき、参加職員が扱うデータ等をオープンデータとして公開し民間に活用されることを考えるワーキングを行っていただきました。ワーキングでは、職員が考える公開への課題に対し解決方法・アドバイスをいただきました。担当としても、利活用のアイデアは職員だけでは大きく広がらないことが実感でき、さらなる利活用には民間を交えた対話の場が必要であるなどのアドバイスもいただき、今後の推進に向けて大変参考になりました。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月22日	13時30分	16時30分	5	175
3-2. 派遣場所	会場名	伊勢市役所		最寄駅	伊勢市駅
	所在地	三重県伊勢市岩渕1丁目7番29号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	37人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	オープンデータの拡充や利活用をして民間との協働を推進するため、職員が課題解決の手段としてオープンデータを利用できるよう理解を進めること。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	オープンデータに関わりの少ない職員に対し、参加職員が扱うデータを公開し利活用につなげることができるよう理解を深めること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	研修を講義1時間、ワーキング2時間で実施していただきました。 講義：IT新戦略の概要から国における取り組みの説明、データを公開する意義、他自治体の活用例等について ワーキング：職員が扱うデータの洗い出し、活用方法、公開に対する課題等について	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	職員が、オープンデータを利活用することが課題解決の有効な手段であると理解できたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	オープンデータの利活用のための課題として、次のことが必要であると分かりました。 ・職員の理解向上のため継続的な研修の実施や働きかけ ・民間との対話の場がなく、またデータ利活用の具体的な案が広がらないため、民間の方の意見をいただける市民参加型講座や対話の場	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ワーキングの中で、職員の考えや担当である情報政策課への意見等収集できたため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

